

一、
田

昭和二十七年十月三十日 午前九時半

午前之部

明治天皇御生誕
百年大祭奉祝
全國古武道各流大會

昭和二十七年十月三十日

正しい古武道の傳統とその再現について 川内 鐵三郎

今日古武道又は古流武術と稱せらるゝものゝ中には、古代から傳承するものもありま
すが、大体流派の發生を見るやうになつたのは、足利時代以後であつて、徳川時代にな
つて多數の流派が生まれ、その末期に及んでは六百余流にも達したほどです。

一般に、劍技に屬するものについては、古くは兵法とか、打物わざ、物切りの名人な
どの言葉が用いられ、柔術に當るものにしても腰廻し、組討わざ、和術、やはら、体術
などと呼ばれ、流儀についても當流、一流、御流儀などとのみ稱し、格別今日のやうに
流名を名乗らなかつたやうです。

之等の武藝は一見格闘の技か、闘争の術の如く考へられますべく、その洗練され、至妙
の域に達したものは、實に立派な藝術であり、藝術と申すべきです。それ故徳川時代頃
には自分の流儀をば我が家の傳はる藝術と呼び、藝能もしくは藝道などとも稱した位い
です。諸流の塑は能樂、歌舞伎、演劇、舞踏、禮儀作法等の形式の中に採り上げられ、
脈々として吾々の日常生活の中に生きて居ります。その心構への面でも、又身体作用の
面でも、大切な根本ともなり、規範ともなつて居ります。

このやうな立派な日本の古典文化とも申すべき諸流の正しい形式が煙滅に歸すること
を憂えて、昭和十年關係者が協力し、日本古武道振興會が結成され、今日に至りました
本年は恰も明治天皇御生誕百年大祭に相當いたしますので、吾々古流の宗家、師範家
の關係者等が相圖り、各地から四十余流百余名相集ひ、柔術、劍術、薙刀術、槍術、棒
術、杖術、弓術、打根術、手裏剣術、十手術、鎖鎌術、管矢術、矢留術、捕繩術、陣貝
術、陣太鼓、手弓術等を奉納致すこととなつたのであります。之等諸流の古いものは、
五百年から傳統をもつものもあり、何れも二百年三百年の歴史を有するものです。そ
の主なる流名を擧げますと、急流、香取神道流、柳生流、小野派一刀流、力信流、鹿島
神流、双木執流、武田流、楊心流、戸田派武甲流、披心流、新陰流、高木流、九鬼神流
無雙直傳英信流、今技新流、養心流、伯耆流、四天流、爲我流、小笠原流、日置流、氣
樂流、柳生心眼流、神夢想林崎流、諸賀流、無邊流、柳剛流、荒木流、誠極流、天神真
楊流、眞蔭流、一心流、一角流、一達流、神道夢想流、源氏天流、楊心古流、戸塚派楊
心流、立身流、示現流、竹内流、謙信流、水鷗流等であります。

1日	置彈正	日	置流	浦上	榮	東京都
2小笠原長清	小笠原	射手	豊島原	種信	神奈川縣	同
(弓術鳴弦、四方詰)	(弓術卷臺射禮)	介添	桑窪田	原	要郎	同
3日置彈正	日置流石堂竹林派射手	介添	小笠原清信	神奈川縣	京都府	同
(石堂竹林坊)	(弓術堂前)	介添	柴田勘十郎	京都府	東京都	同
4石山七郎右衛門	日下眞流	介添	土井彥太郎	東京都	東京都	同
(手弓術)	(柔術中段投捨)	介添	岩島俊雄	東京都	東京都	同
5磯又右衛門	天神眞楊流	岩島俊雄	青森縣	同	同	同
(丸太刀)	(柔術棒術)	相宮和三郎	同	同	同	同
6上泉伊勢守	新陰流	同	同	同	同	同
(居合術太刀術棒術)	(柔術中段投捨)	柳生嚴七	同	同	同	同
7飯篠長威齋	香取神道流	同	同	同	同	同
(柔術居捕極意上段)	(柔術居捕極意上段)	神戸典一	千葉縣	同	同	同
並菅葦三瀧 木木野葉上澤 忠光賢常 太太董次三 郎郎久一郎郎	角杉大林 田野竹 憲嘉利 保男典一	同	同	同	同	同
司埼同同同東 玉縣同同同東 京都	静岡 奈川 縣	同	同	同	同	同

9 立身 三京

(立身、身術)

流

10 江畠李右衛門

(柔術) 我

流

11 伊藤一刀齋

(小野派) 一刀流

流

【午前十一時】

(立身、身術)

流

【午後〇時半】

(日置彌左衛門) 日置

流

22 荒木夢仁齋

(荒木派) 梁心流

流

午後之部

大内義一 東京都

東京都

12 二神半之助

(双水執奥之型) 水執奥之型

流

13 荒木堂

(柳生心眼流) 柳生心眼流

流

14 夢想權之助

(柳生心眼流) 梁心流

流

15 同

(柳生心眼流) 梁心流

流

16 念阿彌慈恩

(柳生心眼流) 梁心流

流

17 三浦楊心

(柳生心眼流) 梁心流

流

18 源義家

(柳生心眼流) 梁心流

流

19 田村利宗

(柳生心眼流) 梁心流

流

20 斎藤亦右衛門

(柳生心眼流) 梁心流

流

21 日置彌左衛門

(柳生心眼流) 梁心流

流

22 荒木夢仁齋

(柳生心眼流) 梁心流

流

23 三浦楊心

(柳生心眼流) 梁心流

流

24 柳生美作守

(柳生心眼流) 梁心流

流

25 宮部嵯峨入道

(柳生心眼流) 梁心流

流

26 相馬四郎義元

(柳生心眼流) 梁心流

流

27 關口彌六右衛門

(柳生心眼流) 梁心流

流

28 柳生但馬守

(柳生心眼流) 梁心流

流

29 大山左近將監

(柳生心眼流) 梁心流

流

30 愛洲移香

(柳生心眼流) 梁心流

流

31 高木馬之輔重貞

(柳生心眼流) 梁心流

流

32 大國鬼平重信

(柳生心眼流) 梁心流

流

33 専當丹治則安

(柳生心眼流) 梁心流

流

34 松本備前守

(柳生心眼流) 梁心流

流

35 竹内中務大輔

(柳生心眼流) 梁心流

流

36 飯篠長威齋

(柳生心眼流) 梁心流

流

37 秋山四郎左衛門

(柳生心眼流) 梁心流

流

38 松岡治部助

(柳生心眼流) 梁心流

流

39 成田清兵衛

(柳生心眼流) 梁心流

流

40 片山伯耆守

(柳生心眼流) 梁心流

流

【午後二時半】

(立身、身術)

流

41 林崎甚助重信

(立身、身術)

流

42 東郷重位

(立身、身術)

流

43 林崎重信

(立身、身術)

流

44 丸目藏人

(立身、身術)

流

45 戸田晴眼

(立身、身術)

流

46 岡田惣右衛門

(立身、身術)

流

47 三間與一左衛門

(立身、身術)

流

48 奥野將監

(立身、身術)

流

49 牛渡八郎右衛門

(立身、身術)

流

50 上杉鑑信

(立身、身術)

流

以上「午後四時終了の豫定」

取締役社長 宮城孝治

本社 東京芝新橋

共榮火災海上